

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1, 3, 6 組：奈良井 有希子） （2, 4, 5, 7 組：工藤 明日実）

使用教科書： （現代の国語 （東京書籍））

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書・読					
1 学 期	A 視点をえて考える 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体例と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 具体例や体験談、引用などを用いた筆者の主張の捉え方 ・教材 『木を見る、森を見る』			【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体例と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○ 粘り強く本文の要点を把握し、視点をえてみることを理解し、自ら論点における課題を調べようとしている。	○			6
	B 視点をえて考える 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読歩表現などの表現技法と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 読歩表現などの表現技法を用いた筆者の主張の捉え方 ・教材 『技術が道徳を代行するとき』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用			【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読歩表現などの表現技法と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○ 粘り強くじれに対する筆者の考えを理解し、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	C 共生について考える 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の文章を読み比べて、内容や構成、論理の展開などについて評価するとともに自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 複数の文章を読み比べて理解したことや解釈したりしたこと文章化 ・教材 『真の自立とは』『自立と市場』『共鳴し引き出される力』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用 自らの考えを文章化する際にWord機能を用いる。		○	【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の文章を読み比べて、内容や構成、論理の展開などについて評価するとともに自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、考えをまとめようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○	○	
	定期考査					○	○		1

2 学 期	D 探求したことを発信する 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 他者に伝わるような言葉遣いや表現の仕方 ・教材 夏季休業中のレポート課題 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用 自らの考えを文章化する際にWord機能を用いる。	○		【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んでわかりやすい発表活動の準備に取り組み、聞き手が理解しやすいように発表を行おうするとともに、他のグループの発表をしっかりと聞いて理解を深めようとしている。	○	○		3
	E 人間を科学から考える 【知識及び技能】 語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 同じテーマについて書かれた複数の文章を読み比べる力 ・1つの事柄に関して複数の視点から考える力 ・教材 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」 「学ぶことと人間の知恵」 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用	○		【知識及び技能】 ・語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く筆者が得人間と人工知能の比較について理解し、今までの学習を生かして筆者が考える。「自分の人生を生きる」行為について読み取り、考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	F グラフや写真から考える。 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解し使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 グラフや写真からの情報の読み取り方。 情報をもとに推論すること。 ・教材 コラム「グラフや写真の読み取り方」 ・自らの考えを文章化する際にWord機能を用いる。	○		【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解し使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にグラフや写真から情報を読み取り、確認、比較した内容について自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	6
	G メディアを考える。 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 「自由」というテーマについて文章をもとに考える。 ・教材 「時間と自由の関係について」 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用 自らの考えを文章化する際にWord機能を用いる。	○		【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く二種類に「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1

3 学 期	H 実用文を読む。 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実用文を読んで、内容や文章の構成、論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 実用文の読み取り方 ・教材 「多層性と多様性」 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用 自らの考えを文章化する際にWord機能を用いる。			○	【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実用文を読んで、内容や文章の構成、論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで多層構造の現代社会における多様性について理解し、筆者の論理の展開に沿って要約し、今までの学習を生かして現代社会における多様性の在り方について自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	5
	I 近代の先へ。 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、相手に応じた言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 評論文の読み取り方 文章をもとに自分の考えを形成すること及びその考えの他者への伝え方。 ・教材 「暇と退屈の倫理学」 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用 討論資料などを作る際にOne noteの共同作業を機能を用いる。			○	【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、相手に応じた言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考えと引用を読み解き、実社会における生き方についての筆者の主張を理解し、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1 合計 70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1, 3, 6 組：工藤 明日実）（2, 4, 5, 7 組：高野 純）

使用教科書： （精選言語文化（東京書籍））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期 （ 中 間 ）	A 古文入門 【知識及び技能】 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 現代仮名遣いや品詞、用言の活用など、古文を読む際の基本的な知識 ・教材 『児のそら寝』 『大江山の歌』			○	【知識及び技能】 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歴史的館使いや文語の品詞について理解し，説話の面白さを読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	B 漢文入門 【知識及び技能】 返り点や五文型などの漢文を読む際に必要な基礎知識を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 返り点や五文型を踏まえて，漢文の内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 返り点や五文型などの漢文を読む際の基礎知識 ・教材 『格言』」 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用			○	【知識及び技能】 返り点や五文型などの漢文を読む際に必要な基礎知識を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 返り点や五文型を踏まえて，漢文の内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1

1 学 期 （ 期 末 ）	C 随筆 【知識及び技能】 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 形容詞・形容動詞の活用 古文の内容、現代語訳 ・教材 『徒然草』『ある人、弓射ることを習ふに』『今日はそのことをなさんと思へど』 『方丈記』『ゆく河の流れ』 ・一人1 台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用			○	【知識及び技能】 ・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
	D 小説 I 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について理解するとともに，それらについて評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 小説の読解の仕方 本文の内容、心情 ・教材 『羅生門』 ・一人1 台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用			○	【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について理解するとともに，それらについて評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	E 再読文字 【知識及び技能】 再読文字の種類及び読み方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成，展開などについて再読文字をはじめとした叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 再読文字の読み方 漢文の現代語訳 ・教材 『再読文字』 ・一人1 台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用			○	【知識及び技能】 再読文字の種類及び読み方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成，展開などについて再読文字をはじめとした叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい，再読文字などに基づいて，漢文に込められた作者の思いについて考えようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1

2 学 期 （ 中 間 ）	F 歌物語 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 和歌の解釈、現代語訳、助動詞 ・教材 『伊勢物語』『芥川』『筒井筒』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
	G 随筆 【知識及び技能】 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類、構成、展開や描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 随筆の内容、現代語訳 助動詞 係助詞、接続助詞 ・教材 『枕草子』『ありがたきもの』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用			○	【知識及び技能】 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類、構成、展開や描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、作者の視点を捉えたり、自分と関係づけて考えたりしようとしている。	○	○	○	4
	H 寓話 【知識及び技能】 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成，展開などについて既習の句形ををはじめとした叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 疑問・反語の句形 本文の内容 ・教材 『戦国策』『借虎威』『列子』『朝三暮四』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用			○	【知識及び技能】 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成，展開などについて既習の句形ををはじめとした叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、既習の句形などに基づいて、漢文に込められた作者の思いについて考えようとしている。	○	○	○	5
	I 軍記物語 【知識及び技能】 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成展開、軍記物語特有の文体や表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 軍記物語の特色、助動詞、音便、現代語訳 ・教材 『平家物語』『木曾の最期』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用			○	【知識及び技能】 言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成展開、軍記物語特有の文体や表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、学習課題に沿って、登場人物の描かれ方を読み取ろうとしている。				5
	定期考査						○	○		1

J 日記文学	・指導事項 日記文学成立の背景、現代語訳 終止形接続の助動詞 係助詞、接続助詞 ・教材 『土佐日記』『帰京』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用				【知識及び技能】 日記文学に対する文化的背景について理解を深め、に特徴的な語句を文章を読む際に使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章中の助動詞や古文単語を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○				5
K 和歌	・指導事項 和歌のリズム、内容 恋の歌を詠み比べる ・教材 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用				【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ろうとしている。	○				5
L 論語	・指導事項 反語、否定の句形 本文の内容 ・教材 『論語』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用				【知識及び技能】 反語、否定の句形について、種類及び読み方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて疑問・反語の句形ををはじめとした叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○				5
N 随筆	・指導事項 自分の体験をもとに恋愛をテーマに話し合う。 本文の内容理解 ・教材 『言葉を届ける』 ・一人1台端末の活用 FormsやOne Noteを活用した振り返り One Noteで考えの共有 視覚教材の利用				【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、展開などについて、叙述に基づいて的確にとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	○				3
定期考查						○	○			1

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（1組：鯨島）（2組：矢野）（3組：鯨島）（4組：鯨島）（5組：矢野）（6組：矢野）（7組：矢野）

使用教科書：（精選論理国語（東京書籍））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		語・聞	書 読					
A 発見への誘い 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と積極的に話し合い、主体的に学習に取り組もうとする。	・指導事項 接続詞の捉え方、論理的に文章を把握する方法 ・教材 教科書、「ミロのヴィーナス」 ・一人1台端末の活用		○ ○	【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主】進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げ、芸術に対する見方を深めようとしている。	○	○	○	7
B 発見への誘い 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立ったものの見方や考え方を培おうとする。	・指導事項 要約の仕方、論理的に文章を把握する方法 ・教材 教科書「科学的「発見」とは」 ・一人1台端末の活用		○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【主】進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立ったものの見方や考え方を培おうとしている。	○	○	○	5
C 仮説を立てて検証する 【知識及び技能】 推論の仕方について理解を深め使う。 【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見通しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとする。	・指導事項 仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめる。 ・教材 教科書「仮説を立てて検証する」 ・一人1台端末の活用		○	C 仮説を立てて検証する 【知識及び技能】 推論の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見通しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとする。	○	○	○	5
1学期 定期考査					○	○		1
D 人間を見つめる 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習を生かして「分人」という観点から自分とその人間関係について考えを深めようとする。	・指導事項 複数の文章の読み比べ方 多面的なものごとの捉え方 ・教材 教科書「分人とは何か」 ・一人1台端末の活用		○	【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主】進んで本文中の複数の問いと具体例の配置に着目しながら、筆者独自の造語に基づく主張を読み取り、今までの学習を生かして「分人」という観点から自分とその人間関係について考えを深めようとしている。	○	○	○	7
E 人間を見つめる 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、人間関係の在り方について自分の考えを深めようとする。	・指導事項 ・教材 教科書「メディアの変容」 ・一人1台端末の活用 等		○	【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主】粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、人間関係の在り方について自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	5
定期考査					○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 説話 1 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとする。	・指導事項 敬語の種類、助詞、助動詞の用法 ・教材 『小野篁、広才のこと』『宇治拾遺物語』 教科書 ・一人1台端末の活用			○	【知技】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとしている。	○	○	○	8
	B 伊勢物語 【知識及び技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語の決まりと歌物語の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとする。	・指導事項 副詞、格助詞、接続助詞の用法 助動詞の用法、和歌の修辞 ・教材 「初冠」「小野の雪』『伊勢物語』 教科書 ・一人1台端末の活用			○	【知技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】進んで文語の決まりと歌物語の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	C 小話 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の果たす役割について考えようとする。	・指導事項 句法（使役形、抑揚形、反語形）の用法、 ・教材 「先従隗始」「完璧而帰』『十八史略』 教科書 ・一人1台端末の活用			○	【知技】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	○	○	○	8

年間授業計画

都立雪谷 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

国語

科目

論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：

2

単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1～2組：鶴巻 ）（ 3～4組：太島 ）（ 5～7組：奈良井 ）

使用教科書：（ 「精選論理国語」 東京書籍 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読	読					
1 学 期	A 言葉のトレーニング 【知識及び技能】 段落の仕組みと働き、読解における段落の効用を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 例をもとに「チャント」の概念を捉え、「跳躍伝導」との関連性から段落の仕組みと働きについて読み取り、的確に説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 段落分けの考え方を理解して、書き手の思考の流れや意図が伝わりやすい段落構成について考えを深め、段落の機能について説明しようとしている。	・段落の機能を論じた文章を読み方。 ・書き手の意図を的確に反映した文章構成の在り方を考え方。 ・「つながりとしての段落」 ・一人1台端末の活用	○		○		【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主】積極的に段落の仕組みや働き、読解における効用を理解し、学習課題に沿って書き手の思考の流れや意図が伝わりやすい文章構成について考えを深め、話し合おうとしている。	○	○	○	8
	B 言葉を再考する 【知識及び技能】 ・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「言語記号」と「他の一般記号」との違いを整理して理解し、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を踏まえて、言語に対するこれまでの自分の考え方と筆者の考えを比較して、言語の持つ文化形成力について自分の考えを深め、説明しようとしている。	・図表を踏まえて文章を読解する方法を考え方。 ・「言語と記号」 ・一人1台端末の活用			○	○	【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主】粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
	C 自己と社会 【知識及び技能】 本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえて、その論拠を批判的に考察し、自己の社会学的視点を深め、説明しようとしている。	・本文の中心的主張やその根拠にかかわる内容に対する「論証の問い」を考え方 ・「サッカーにおける『資本主義の精神』」 ・一人1台端末の活用 等			○	○	【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】粘り強く「オフサイドのルールがない」という現象から導き出す本質と、ボールゲームのゴールの数と資本主義の投資の反復との類推の関係から、筆者の主張を捉え、学習の見通しをもって主張の論拠を批判的に考察し、自己の社会学的視点を深めようとしている。	○	○	○	8
	D イメージを読む 【知識及び技能】 提示されている地図に注目して論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取れている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで近代的思考による科学主義的な地図観に反駁する筆者の立場とその論理展開を理解しようとしている。	・図像を用いながら、自分の考えを表現する方法 ・「地図の想像力」 ・一人1台端末の活用 等			○	○	【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主】進んで近代的思考による科学主義的な地図観に反駁する筆者の立場とその論理展開を理解し、学習課題に沿って身近な地図から描き手の目的や意図とその工夫を読み解き、自分の考えを述べようとしている。	○	○	○	9

[illegible]

科目 現代文演習

單位數： 2 單位

使用教科書：（「論理の力を育てる」シリーズ 論理ワークノート ネクスト、ロジック現代文 私大過去問題演習、共通テスト対策
新しい第3の現代文 集中回答11、共通テスト対策 現代文完答22）

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 現代文の読み方を知る。 【知識及び技能】 ・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章全体の内容を整理することを通じて全体の構成を理解し、説明し	・提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、考える力。 ・「論理力ワークノート ネクスト」 ・一人1台端末の活用		○	○	・[知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	B 現代文の読み方を身につける 【知識及び技能】 ・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。 【思考力、判断力、表現力等】	・現代文の読み方を駆使して主張を理解し、解釈する力。 ・「論理力ワークノート ネクスト」 ・一人1台端末の活用		○	○	・[知技] ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 [思判表] ・文章において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
2 学 期	c 現代文の読み方を用いて内容を理解する。 【知識及び技能】 ・様々な文章読むことを通じて論理的表現の働きや役割について理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理的表現の意図を理解したうえ	・現代文の読み方を用いて文章の内容を理解し、情報を適切に読み取れるようにする力。 ・「ロジック現代文 私大過去問演習」 ・一人1台端末の活用		○	○	・[知技] ・論証したり文章内容を正確に把握するために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価し	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	d 現代文の入試問題に取り組む。 【知識及び技能】 ・対象によって、情報の具体・抽象の度合いや重要度を絞り込み、資料の特徴を可視化する方法を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料の整理を通して、立場の違い	・読み取った内容をもとに設問に確実に答えることのできる力。 ・「ロジック現代文 私大過去問演習」 ・「共通テスト対策 新しい第3の現代文 集中回答11」 ・共通テスト対策 現代文完答22 ・一人1台端末の活用		○	○	・[知技] ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 [思判表] ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 [主]	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
3 学 期	e 現代文の入試応用問題に取り組む。 【知識及び技能】 ・筆者の体験や具体例・引用と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各意味段落の内容を読み取り、	・大学入学試験において文章の内容を正確に把握し、設問に答えることができる力。 ・「共通テスト対策 新しい第3の現代文 集中回答11」 ・共通テスト対策 現代文完答22 ・一人1台端末の活用		○	○	・[知技] ・文や文章の効果的な組み立て方、段落間相互の関係性や論理的表現の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	○	○	○	8
										合計
										70

年間授業計画

都立雪谷 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教 科：国語

科 目：古典演習

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 選択者

教科担当者：（ 5組：鮫島 ） （ 7組：鶴巻 ） （①：鶴巻 ） （②：鮫島 ）

使用教科書：（ 古典常識も学べる新明説総合古典文法、古典常識も学べる新明説総合古典文法ノート、新明説総合古典文法

基本練習ノート、つながらる・まとまる古文単語500、必携 ～句法と語彙を一緒に学ぶ～ 新明説漢文、

必携新明説漢文シリーズ～句法と語彙をおぼえるための～ 基本練習ノート、古典速読トレーニング標準、

プログレス古文総演習 標準篇、プログレス古文総演習 発展篇、大学入学共通テスト演習 古典）

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感

【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとし

科目 古典演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入学試験の古典を読解するために必要となる知識や技能を身に付けるようにする。	大学入学試験に必要な論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典の文章の内容をより深く理解する力を身に付けるようにする。	大学入学試験の古典に対して実践的な問題演習を繰り返し行うことで、入試問題に対応できる力を培おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数		
			話・聞	書	読							
1 学 期	A 古典文法の総復習 【知識及び技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の言動や心情を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 教材のおもしろさはどのような点にあると思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・助動詞をはじめとした古典文法の総復習 ・「プログレス古文総演習 標準篇」1～10 ・一人1台端末の活用 等			○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとしている。	○			○	20
	B 古典常識の再確認 【知識及び技能】 ・文章の展開の仕方について理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の言動や心情を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章中の様々な表現が読み手にどのようなことを考えさせるかを文章にまとめ、自分の考えをさらに深めようとしている。	・古典文法に加え、古典常識の確認 ・「プログレス古文総演習 標準篇」11～15 ・一人1台端末の活用 等			○	○	【知技】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】進んで和歌を含んだ説話の構成を的確に捉え、学習課題に沿って、二つの和歌の共通点や、和歌をめぐる登場人物の対応の仕方について考えようとしている。	○			○	20
	定期考査									○	○	1
	C 様々な文章を読解する【説話、歌物語】 【知識及び技能】 ・本文中の助詞や敬語などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中の引用された和歌や言葉の意図や効果について、自分の考えを文章にまとめ、それをさらに深めようとしている。	・品詞分解及び正確な直訳の仕方 ・「プログレス古文総演習 標準篇」16～23 ・一人1台端末の活用 等			○	○	【知技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主】進んで文語の決まりと歌物語の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○			○	○
D 様々な文章を読解する【随筆、日記】 【知識及び技能】 ・本文中の助動詞の用法や係り結びなどの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語の決まりについて理解し、本文の登場人物の行動の意図や心情について自分の考えを深め、他者に説明しようとしている。	・本文の速読及び正確な直訳の仕方 ・「プログレス古文総演習 標準篇」24～30 ・一人1台端末の活用 等			○	○	【知技】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、作者の価値観が現代でも当てはまる例について考察し、学習課題に沿って平安時代の後宮生活について自らの考えを深めようとしている。	○			○	○	20
定期考査										○	○	

2 学 期	E 大学入試レベル相当の問題演習 【知識及び技能】 本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文についての自分の考えを文章にまとめ、さらに他者の文章を読むことを通して自分の考えを深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・「プログレス古文総演習 完成篇」1～15 ・一人1台端末の活用 等			○	○	○	20
	定期考査					○	○	1
	F 大学入試レベル相当の問題演習 【知識及び技能】 古典特有の表現や言葉のリズムなどについて理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の言葉について自分の考えを発表し、さらに討論などを通して自分の考えを深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・「プログレス古文総演習 完成篇」16～30 ・一人1台端末の活用 等			○	○	○	20
	定期考査					○	○	1
3 学 期	G 共通テスト及び大学二次試験に向けた問題演習 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文からうかがえる作者のものの考え方を踏まえ、自分の考えを深め、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の主題について自分の考えを伝えるときに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・「共通テスト対策 現代文完答 22」第一回～第六回 ・一人1台端末の活用 等			○	○	○	10
	H 共通テスト及び大学二次試験に向けた問題演習 【知識及び技能】 和歌の修辞や特色について理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌をはじめとした本文中の表現からうかがえる作者のものの見方や考え方について考察し、自分の考えを伝えるときに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・「共通テスト対策 現代文完答 22」第七回～第十一回 ・一人1台端末の活用 等			○	○	○	6
								合計 141

